

# 琉球大学アドミッション・ポリシー（平成24年度受験生向け）

## ○琉球大学の基本理念

琉球大学は、「自由平等、寛容平和」という建学の精神を継承・発展させて、「真理の探求」、「地域・国際社会への貢献」、「平和・共生の追求」を基本理念とする。

## ○琉球大学のアドミッション・ポリシー

※本学の理念を理解し、本学で学ぶ強い意欲を持った人

※本学で学ぶための十分な基礎学力を持った人

※外国語運用能力を高め、国際感覚を身につける意欲のある人

※自己実現意欲のある個性的な人

## ●学部・学科等のアドミッション・ポリシー

学部・学科等	教育理念・目的		入学者受入方針 ※求める学生像（アドミッション・ポリシー）	
	学部	学 科 (コース・専攻課程・専修等)	求める能力・適性等	入学者選抜の基本方針
総合社会システム学科	法学専攻課程	学部教育理念に沿って、本専攻は、現代社会の複雑・多様な諸相を法学を中心として、経済学・政治学・国際関係論などの関連分野を視野に入れ、物事を総合的かつ体系的に捉えて問題を考えることができる人材の育成を目的としています。	本学科は、法律学・経済学・政治学・国際関係論などを含む社会科学分野の教育研究を担っており、現代社会における諸問題を、それぞれの専攻分野を中心として、総合的かつ体系的に捉えて問題の本質を見極め、その解決策を見つけることができる人材の育成を目的としています。	* どの入試区分でも入学者選抜の基本方針（入学要件、選抜方法、選抜基準等）は共通です。
	経済学専攻課程	学部教育理念に沿って、本専攻は、現代社会の複雑・多様な諸相を経済学を中心として、法学・経済学・政治学・国際関係論など様々な視点から読み解き、物事を総合的かつ体系的に捉えて問題の本質を見極め、その解決策を見つけることができる人材の育成を目的としています。	そのため ・ 人間社会や社会諸科学への深い関心 ・ 柔軟かつ総合的な思考力	本学科は、高等学校の教育課程を尊重しつつ、教育目的の達成に必要な基礎能力の確認を主眼とした選抜方法を採用しています。入学者選抜には一般入試と特別入試があります。一般入試（前期・後期課程の昼間主・夜間主コース）では、大学入試センター試験の成績及び個別学力検査等の成績を総合判定して選抜します。特別入試では、推薦入試Ⅱ、社会人及び帰国子女特別入試を採用し、学生の多様化を図っています。
	政治・国際関係専攻課程	学部教育理念に沿って、本専攻は、現代社会の複雑・多様な諸相を政治学・国際関係論を中心として、法律学・経済学などの関連分野を視野に入れ、物事を総合的かつ体系的に捉えて問題を考えることができる人材の育成を目的としています。	主体的に学ぶ意欲 を持った学生を求めています。	※私費外国人留学生入試、第3年次特別編入学については当該学生募集要項をご参照ください。
法文学部	人間行動専攻課程	【学部共通】 広い視野と専門的な知識、国際感覚とバランス感覚を持った人間性豊かな人材を育成します。 1. 豊かな人間性と専門性 2. 異文化理解力・外国語運用能力 3. 情報リテラシー 4. 地域の社会・文化への深い理解 5. 基礎学力 の向上を目指しています。	思想・教育・心に強い関心を持ち、多面的な観点から物事を考察し、自分なりの意見をまとめることのできる人材を求めています。	【学部共通】 大学での勉学に必要な不可欠な柔軟な好奇心、知的探究心、思考力を養っておく上では、どの科目もバランス良く履修してください。
		【学科共通】 現代は、社会や自然の急激な変化や価値観の多様化の中で、人間をとりまく諸問題がますます複雑になっています。こうしたなかで、経済や科学技術、環境問題などに関する地球規模での人類の連帯の必要性とともに、地域・民族・歴史・文化・思想・伝統の多様性の認識が重要なテーマとなってきています。そして人間の心のあり方や人間らしい生き方、人間集団としての社会のあり方そのものが大きく問われています。そのために、人間を中心に据えながら、人類が直面する問題を歴史・社会・文化・地域・環境といった多角的な視点から探求し、幅広い知識と寛容の精神を持って時代の創造者になることが、21世紀に生きる私たちに求められています。このようなことから、人間科学科には人間行動専攻、社会学専攻、地理歴史人類学専攻を置き、各専攻はそれぞれ関連する複数の専門領域で構成し、時代の要請に応えられる人材の育成を目指しています。		* どの入試区分でも入学者選抜の基本方針（入学要件、選抜方法、選抜基準等）は共通です。
	社会学専攻課程	【人間行動専攻】 人間行動専攻には、哲学・倫理学、教育社会学、社会心理学、臨床心理学の学問分野があります。本専攻では、思想、文化、生き方、心、教育を視点として人間について学問的に探求し、人間の普遍的な特性を理解するとともに、現代社会や人間の直面している諸問題について理解を深めることを目指します。 【社会学専攻】 社会学専攻は、社会学、社会福祉学、マスコミ学といった3つの専門分野を学際的に統合し、また横断するような教育カリキュラムを提供しています。そのことによって、社会学専攻では、人間の行動、生き方、生活問題の発生過程及びその解決方法などの社会生活の諸側面を社会構造と主体との関係性及び意味づけの観点から、理論的・実証的な教育研究を行います。	社会を複眼的な視点で見ながら、市民社会の発展や、生活問題の解決に貢献できる人材を求めています。	高等学校の教育課程を尊重しつつ、上記の教育理念、求める学生像等に基づいて、各専攻別に多様な方式による入学者選抜を行っています。一般入試（前期日程、後期日程）の他に、高等学校長推薦による推薦入試Ⅱがあり、多角的に入学者の選抜を行います。基礎学力を重視し、どの入試においても大学入試センター試験の結果を取り入れています。あわせて入試で課される小論文では、理解力、分析力、論理的な表現能力等を評価します。面接試験では、実際に受験生と直に接することによって、意欲、関心、適性等を評価します。
地理歴史人類学専攻課程	【地理歴史人類学専攻】 地理歴史人類学専攻では、地理学、歴史学、人類学のそれぞれの学問分野の手法を用いて、人間や社会、文化を複眼的思考に基づき深く理解します。その際、対象を多角的に理解することができるように、それぞれの学問分野が相互補完関係のもとに有機的に結びついた幅広い教育カリキュラムを提供しています。	地域や文化に高い関心を持ち、解決すべき課題を自ら発見すると共に、実証的アプローチに基づいた論理的思考によって課題を解決することのできる人材を求めています。	※私費外国人留学生入試、第3年次特別編入学については当該学生募集要項をご参照ください。	

学部・学科等	教育理念・目的		入学者受入方針 ※求める学生像（アドミッション・ポリシー）			
	学 部	学 科 (コース・専攻課程・専修等)	求める能力・適性等	高等学校等で履修すべき科目や習得しておくことが望ましい資格等	入学者選抜の基本方針	
法 文 学 部	琉球アジア文化専攻課程		<p>研究対象である琉球アジア言語文化圏（沖縄、日本、中国、台湾、朝鮮半島）の言語、文学、文化、歴史、民俗などに強い関心と学習意欲を有し、彼我の相違と類似性の面に目を向けつつ主体的・積極的研究のできる学生を歓迎します。</p> <p>具体的には、</p> <p>① 専攻分野の研究資料・情報を収集する能力</p> <p>② 収集した資料や情報の整理・分析を通して独自の視点から意見を持ちうる能力</p> <p>③ 研究した成果を論理的にまとめて説得力のある発表のできる技能</p> <p>④ 他者との議論、意見交換を通して多様な見解や価値観を学び、内省し、柔軟に修正・改善する姿勢</p> <p>を持った人を求めています。</p>		<p>○ 屋間主コースの一般入試前期日程：大学入試センター試験・小論文・面接・調査書</p> <p>○ 屋間主コースの一般入試後期日程：大学入試センター試験・口頭試問</p> <p>○ 推薦入試Ⅱ（屋間主コースのみ）では、高等学校等の長の推薦に基づき、大学入試センター試験の成績・小論文・面接・調査書・推薦書および志願理由書を総合判定して選抜</p> <p>○ 帰国子女特別入試（屋間主コースのみ）：大学入試センター試験を免除し、成績証明書（調査書）・小論文・面接を総合判定して選考</p> <p>※私費外国人留学生入試、第3年次特別編入学については当該学生募集要項をご参照ください。</p>	
	国際言語文化専攻課程	<p><b>【学部共通】</b> 広い視野と専門的な知識、国際感覚とバランス感覚を持った人間性豊かな人材を育成します。</p> <p>1. 豊かな人間性と専門性</p> <p>2. 異文化理解力・外国語運用能力</p> <p>3. 情報リテラシー</p> <p>4. 地域の社会・文化への深い理解</p> <p>5. 基礎学力</p> <p>の向上を目指しています。</p>	<p><b>【学科共通】</b> 国際言語文化学科は、高度情報化、国際化した現代社会の要請に応えるために、豊かな国際感覚と言語運用能力を身につけさせ、日本・沖縄の自文化と、欧米・アジアの異文化を有機的に結びつけた総合的な理解力を持った人材の育成を行ないます。実践的な言語情報処理能力を養成し、国際的なレベルで活躍できる人材、地域社会の発展に寄与できる人材の育成を目的としています。</p>	<p>英語を中心とする言語、文学、文化、歴史に強い関心と学習意欲を有し、異なる文化と自己の文化に対する多面的な理解と、あらゆる物事を地球的視野で考える力の獲得へ向けて、主体的・積極的な学習のできる学生を歓迎します。</p>	<p><b>【学部共通】</b> 大学での勉学に必要な柔軟な好奇心、知的探究心、思考力を養っておく上では、どの科目もバランス良く履修してください。</p>	<p>「屋間主コース」</p> <p>○ 一般入試前期日程：大学入試センター試験・英語学力検査試験・調査書</p> <p>○ 一般入試後期日程：大学入試センター試験・口頭試問・調査書</p> <p>○ 推薦入試Ⅱ：大学入試センター試験・小論文・面接・調査書・推薦書・志願理由書</p> <p>○ 帰国子女特別入試：英語学力検査試験（リーディング、ライティング、リスニングおよび面接）・成績証明書（調査書）</p> <p>※私費外国人留学生入試、第3年次特別編入学については当該学生募集要項をご参照ください。</p>
	ヨーロッパ文化専攻課程		<p>研究対象であるヨーロッパ言語文化圏（ドイツ、フランス、スペイン）の言語、文学、文化、歴史、民俗などに強い関心と学習意欲を有し、彼我の相違と類似性の面に目を向けつつ主体的・積極的研究のできる学生を歓迎します。</p> <p>具体的には、</p> <p>① 専攻分野の研究資料・情報を収集する能力</p> <p>② 収集した資料や情報の整理・分析を通して独自の視点から意見を持ちうる能力</p> <p>③ 研究した成果を論理的にまとめて説得力のある発表のできる技能</p> <p>④ 他者との議論、意見交換を通して多様な見解や価値観を学び、内省し、柔軟に修正・改善する姿勢</p> <p>を持った人を求めています。</p>		<p>○ 屋間主コースの一般入試：前期日程では小論文・面接を課し、後期日程では、面接を課して、それぞれ大学入試センター試験の成績、高等学校での成績などの調査と併せて入学者を選抜。</p> <p>○ 推薦入試Ⅱ（屋間主コースのみ）：高等学校等の長の推薦に基づき、大学入試センター試験の成績・面接・調査書・推薦書および志願理由書を総合判定して選抜。</p> <p>○ 帰国子女特別入試（屋間主コースのみ）：大学センター試験を免除し、成績証明書（調査書）・小論文・面接を総合判定して選考。</p> <p>※私費外国人留学生入試、第3年次特別編入学については当該学生募集要項をご参照ください。</p>	

学部・学科等	教育理念・目的		入学者受入方針 ※求める学生像（アドミッション・ポリシー）		
	学 部	学 科 (コース・専攻課程・専修等)	求める能力・適性等	高等学校等で履修すべき科目や習得しておくことが望ましい資格等	入学者選抜の基本方針
観光科学科					
		<p>グローバル化時代を見据え、持続可能な開発に資する人材、高い学士力を身につけ、現代社会で創造的に活躍できる人材を育成することを目的とします。</p>	<p>基礎学力を有し、観光分野に関心が高く、意欲的な人材を選抜するため多様な選抜方法を実施します。選抜の基本方針として、学力についてはとくに英語をはじめとする語学運用能力を重視します。</p> <p>○ 推薦 I 社会情勢を広く認識し、問題意識を持ち、それらを口頭で論理的に説明できる能力を備えている人材を求めます。</p> <p>○ 前期日程 基礎学力を有することはもちろん、特に英語の能力に優れている人材を求めます。</p> <p>○ 後期日程 社会情勢を広く認識し、問題意識を持ち、それらを文章で論理的に説明できる能力を備えている人材を求めます。</p>	<p>高等学校等で履修すべき科目や習得しておくことが望ましい資格等</p> <p>実用英語技能検定（英検）2級</p>	<p>○ 推薦 I 面接では、社会情勢に関心を持ち、質問に対して論理的に筋道を立てて説明できることを重視します。</p> <p>○ 前期日程 基礎学力を有していること、特に英語の能力を重視します。</p> <p>○ 後期日程 小論文では、社会情勢を認識し、課題に対して適切に回答しているかという姿勢を問います。文章の論理性、客観性も評価の対象とします。</p>
観光産業科学部	<p>【学部共通】</p> <p>あたらしい観光および地域産業に求められる「高度な専門職業人の育成」と「幅広い職業人の育成」との両立を目指します。</p> <p>教育研究成果を社会に還元するために、生涯学習機会の提供を通じて、大学と社会の双方向的な関係の構築を目指します。</p> <p>国際協力ならびに産学官の連携を推進し、地域・国際社会の知識・文化の中核として、次世代に向けた地域活性化の教育拠点になることを目指します。</p>				
産業経営学科	<p>学部教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>持続可能な観光・産業・社会の実現に貢献する人材の育成</li> <li>専門性と教養を備え、総合的判断力を有する人材の育成</li> <li>地域社会および国際社会の発展に貢献する人材の育成</li> <li>理論を実践に活かすことのできる人材の育成</li> <li>職業人、社会人として高い倫理観をもつ人材の育成</li> </ol>	<p>幅広い教養と高い倫理観を兼ね備え、理論と実践の両面から、地域・国際社会に貢献し、自ら未来を創造できる人材の育成を教育理念としています。</p>	<p>本学科では、① 経営と観光に関する専門性と教養の習得を目指す人、② 理論と実践の両面から真実を追究し、国際社会・地域社会の発展に貢献する意欲・行動力を持つ人を求めています。</p> <p>社会人にとっては、これらに加えて、社会に貢献するためのキャリア・アップを図る人を求めています。</p> <p>○ 推薦 I 高等学校における基礎学力を身につけており、特に英語の運用能力と論理的な思考力・表現力に優れている人を求めています。専門学校卒にあっては、高度専門職業人を目指す人を求めています。</p> <p>○ 前期日程 高等学校における基礎学力と英語の基本的能力に優れている人を求めています。</p> <p>○ 後期日程 高等学校における基礎学力を身につけている人を求めています。</p>	<p>本学科では国際共通語としての英語を重視していることから、実用英語技能検定（英検）2級、TOEIC等、英語の客観的能力が判断できる試験の受験を推奨しています。商業高校にあっては、簿記（日商2級、全商1級レベル）の取得に努めてください。</p>	<p>産業経営学科では受験生が高等学校の教育課程で、基礎的な学力、とりわけ英語の基本的な運用能力および論理的な思考力を養成できたかどうかを重視し、次のような選抜を行っています。</p> <p>○ 推薦 I 大学入試センター試験を課さず、高等学校における英語の評定平均が4.7、または実用英語技能検定2級以上を条件に、① 小論文の論理構成力と表現力、② 面接の際の自己表現力と論理的な説明能力を総合的に評価して選抜します。</p> <p>○ 前期日程 高等学校における基本的な学力を問う大学入試センター試験の結果と英語の個別学力検査の結果を総合して選抜します。</p> <p>○ 後期日程 高等学校における基本的な学力を問う大学入試センター試験の結果に基づき選抜します。</p>

学部・学科等		教育理念・目的		入学者受入方針 ※求める学生像（アドミッション・ポリシー）		
		学 部	学 科 (コース・専攻課程・専修等)	求める能力・適性等	高等学校等で履修すべき科目や習得しておくことが望ましい資格等	入学者選抜の基本方針
教 育 学 部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	小学校教育コース	<p><b>【学部共通】</b> 現在の日本の教育現場は多様で複雑な課題に直面し、その解決に向けて教員に高い指導力が求められています。高い指導力とは、教科に関する深い知識や緻密なカリキュラム構成力に支えられた児童・生徒を惹きつける授業力を前提としつつ、さらには他者との対話能力、新しい教育課題に向き合いながら学びの場を創出する能力、学校全体としての教育活動を充実させる優れたコーディネート能力といった、さまざまな力量によって発揮されるものです。本学部は、このような総合的・実践的な指導力を持った質の高い学校教員を養成します。また、学校のみならず、それを含む地域社会における教育を担い、共生型地域社会の創造に主体的に貢献できる、国際的な視野と深い専門知識と幅広い教養を身につけた質の高い人材を養成します。 基本的な教育目標は以下の3つです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 沖縄唯一の教員養成学部として、沖縄の歴史的・地理的・文化のおよび社会的特性を活かし、持続可能な地域社会の形成に主体的に参加し貢献できる小学校及び中学校教員など、沖縄を中心にこれからの教育界を担う人材を育成します。</li> <li>2. 国際的な視野と教養を涵養するとともに、子どもの教育と、教育に関する深い専門性を自ら探求し、発見・創造していく人材を育成します。</li> <li>3. 学びの場を豊かにするための創造性や人と人とを結ぶなどのコーディネート能力を培うことで、現代的・地域的教育課題に柔軟且つ適切に対応できる総合的・実践的指導力を持った人材を育成します。</li> </ol>	<p><b>【課程共通】</b> 学校教育教員養成課程では、教育という営みの本質を学びつつ、主として学校教育に関わる今日的な問題に真剣に取り組もうとする、次のような人材を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教員として子ども及び社会と関わっていきたい人</li> <li>(2) 教育の理論と実践を広く深く学ぶ意欲のある人</li> <li>(3) 沖縄の歴史的・地理的・文化的・社会的特性を活かしながら、グローバルな視点に立って教育活動に携わりたい人</li> </ol>	<p><b>【学部共通】</b> 本学部は、高等学校等の教育課程を尊重しており、基本的な学力を身につけるよう、授業科目を偏り無く学んでいることを期待します。これに加え、下記の専修・コースでは次のような学びや科目の履修、資格の取得を望んでいます。</p> <p>[ 教育実践学専修 ] 小学校教員は全教科を教えることとなりますので、高等学校の教育課程を満遍なく履修することに加えて、各自の趣味や興味・関心に応じて様々なことを学び、子どもや学校に関わるることについて興味や関心を深めることを望みます。</p> <p>[ 数学教育専修 ] 履修すべき科目：数学Ⅰ・A、数学Ⅱ・B、数学Ⅲ・C。</p> <p>[ 理科教育専修 ] 履修が望ましい科目：大学入試センター試験の科目として当専修が提示している科目。それに加えて、理科では物理Ⅱ、化学Ⅱ、生物Ⅱ、地学Ⅱのうち1科目以上、数学では数学Ⅲ・C。</p> <p>[ 音楽教育専修 ] ① 高等学校までに培った論理的思考や豊かな感性が、入学後の専門性の高い音楽教員養成の基礎となります。 ② 音楽の知識と基礎演奏技術がある事が望まれます(実技検査等実施方法を参照)。 ③ 高等学校の教科書程度の楽典、用語、音楽史などの知識が望まれます。 ④ 小中学校の教科書にある歌唱曲のピアノでの弾き歌い、そして専門楽器(声楽を含む)演奏の基礎技術が望まれます。</p> <p>[ 技術教育専修 ] 履修が望ましい科目：数学については、数学Ⅰ・A、数学Ⅱ・B、数学Ⅲ(特に微分・積分)。 理科については、物理Ⅰ・Ⅱ。</p> <p>[ 生活科学教育専修 ] 履修が望ましい科目：家庭については、家庭総合。</p> <p>取得が望ましい資格： 全国高等学校家庭科技術検定(被服製作、食物調理、保育)に関する技術検定(3級以上)。</p>	<p><b>【学部共通】</b> 高等学校における教育課程の履修状況を大学入試センター試験や調査書などで確認し、本学部の教育プログラムに対応する意欲と能力とを個別学力検査等(小論文試験や面接などを含む)で評価して、所定の入学定員に応じた入学者を選抜します。(ただし、一部の推薦入試では大学入試センター試験を評価の対象外とする場合がありますので、詳しくは「入学者選抜要項」や「学生募集要項」の推薦入試の欄で確認してください。) 受験機会の複数化や選抜方法の多様化を実現するために、一般入試の入学定員を前期日程と後期日程に分けて募集したり、一般入試と特別入試(推薦入試など)とに定員を分割したりしています。 教科に即した修得度とは異なった入学者適性を判断するために、小論文試験で読解力や構想力を評価したり、面接試験で表現力やコミュニケーション能力などを評価したりします。</p>
		国語教育専修				
		社会科教育専修				
		数学教育専修				
		理科教育専修				
		音楽教育専修				
		美術教育専修				
		保健体育専修				
		技術教育専修				
		生活科学教育専修				
英語教育専修						
特別支援教育コース	特別支援教育専修					
生 涯 教 育 課 程	子ども地域教育コース	<p><b>【学部共通】</b> 現在の日本の教育現場は多様で複雑な課題に直面し、その解決に向けて教員に高い指導力が求められています。高い指導力とは、教科に関する深い知識や緻密なカリキュラム構成力に支えられた児童・生徒を惹きつける授業力を前提としつつ、さらには他者との対話能力、新しい教育課題に向き合いながら学びの場を創出する能力、学校全体としての教育活動を充実させる優れたコーディネート能力といった、さまざまな力量によって発揮されるものです。本学部は、このような総合的・実践的な指導力を持った質の高い学校教員を養成します。また、学校のみならず、それを含む地域社会における教育を担い、共生型地域社会の創造に主体的に貢献できる、国際的な視野と深い専門知識と幅広い教養を身につけた質の高い人材を養成します。 基本的な教育目標は以下の3つです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 沖縄唯一の教員養成学部として、沖縄の歴史的・地理的・文化のおよび社会的特性を活かし、持続可能な地域社会の形成に主体的に参加し貢献できる小学校及び中学校教員など、沖縄を中心にこれからの教育界を担う人材を育成します。</li> <li>2. 国際的な視野と教養を涵養するとともに、子どもの教育と、教育に関する深い専門性を自ら探求し、発見・創造していく人材を育成します。</li> <li>3. 学びの場を豊かにするための創造性や人と人とを結ぶなどのコーディネート能力を培うことで、現代的・地域的教育課題に柔軟且つ適切に対応できる総合的・実践的指導力を持った人材を養成します。</li> </ol>	<p><b>【課程共通】</b> 生涯教育課程では、沖縄の歴史的・地理的・文化のおよび社会的特性を理解したうえで、子どもと地域を取り巻く現代的な教育課題や子どもの心身の健康をめぐる諸問題に向き合い、生涯教育活動を通じて社会発展に寄与する意欲のある、次のような人材を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生涯教育や社会貢献に興味・関心を持つ人</li> <li>(2) 幅広い分野で創造的活動を行い、人々と共に地域貢献に関わりたい人</li> <li>(3) 社会の抱える現実的な課題の解決に向けて、専門的な知識や技術を身につけたい人</li> </ol>	<p><b>【学部共通】</b> 本学部は、高等学校等の教育課程を尊重しており、基本的な学力を身につけるよう、授業科目を偏り無く学んでいることを期待します。これに加え、下記の専修・コースでは次のような学びや科目の履修、資格の取得を望んでいます。</p> <p>[ 自然環境科学教育コース ] 履修が望ましい科目：大学入試センター試験の科目として当コースが提示している科目。それに加えて、理科では物理Ⅱ、化学Ⅱ、生物Ⅱ、地学Ⅱのうち1科目以上、数学では数学Ⅲ・C。</p>	<p><b>【学部共通】</b> 高等学校における教育課程の履修状況を大学入試センター試験や調査書などで確認し、本学部の教育プログラムに対応する意欲と能力とを個別学力検査等(小論文試験や面接などを含む)で評価して、所定の入学定員に応じた入学者を選抜します。(ただし、一部の推薦入試では大学入試センター試験を評価の対象外とする場合がありますので、詳しくは「入学者選抜要項」や「学生募集要項」の推薦入試の欄で確認してください。) 受験機会の複数化や選抜方法の多様化を実現するために、一般入試の入学定員を前期日程と後期日程に分けて募集したり、一般入試と特別入試(推薦入試など)とに定員を分割したりしています。 教科に即した修得度とは異なった入学者適性を判断するために、小論文試験で読解力や構想力を評価したり、面接試験で表現力やコミュニケーション能力などを評価したりします。</p>	
	沖縄島嶼教育コース					
	自然環境科学教育コース					
	生涯健康教育コース					
	心理臨床教育コース					

学部・学科等	教育理念・目的		入学者受入方針 ※求める学生像（アドミッション・ポリシー）		
	学 部	学 科 (コース・専攻課程・専修等)	求める能力・適性等	高等学校等で履修すべき科目や習得しておくことが望ましい資格等	入学者選抜の基本方針
理 学 部	数 理 科 学 科	<p>諸科学の基礎としての数理科学の教育研究を行うとともに、数理科学的素養を持ち、社会の多様化と時代の変化に柔軟に対応できる幅広い教養を身に付けた人材を育成することを目的とします。</p> <p>【学部共通】 本学部は、「理学」における伝統的学問分野をさらに充実させるとともに、沖縄の地理的特性を活かした特色ある教育研究を一層推進し、広く社会で活躍できる人材を育成する学部です。本学部は、今日の急激な学問展開と社会状況を考慮し(1)基礎科学としての「理学」への期待と社会的要請に応え、高い理想と広い視野、強い信念、国際的素養を備えた人材の養成、(2)沖縄の地域的自然特性等の教育研究及び基礎科学が学問的土台になるような技術・環境・文化等の社会的要請に対応できる教育研究の推進を理念としています。</p>	<p>数理科学科では、教育理念に基づいて、次のような人を求めています。</p> <p>○ 一般入試前期日程 ① 基礎的な数学の知識・思考力を備えている人 ② 未知の数学に対する好奇心が旺盛である人 ③ 強い勉学意欲を持ち、積極的に数学を学び、修得した知識や技術等を社会に役立てたい志のある人</p> <p>○ 一般入試後期日程 ① 基礎的な数学の知識・思考力を備えている人 ② 未知の数学に対する好奇心が旺盛である人 ③ 強い勉学意欲を持ち、積極的に数学を学び、修得した知識や技術等を社会に役立てたい志のある人</p> <p>○ 私費外国人留学生 ① 基礎的な数学の知識・思考力を備えている人 ② 未知の数学に対する好奇心が旺盛である人 ③ 強い勉学意欲を持ち、積極的に数学を学び、修得した知識や技術等を社会に役立てたい志のある人</p>	<p>高等学校等で履修すべき科目や習得しておくことが望ましい資格等</p> <p>数理科学科では、高等学校で次のような科目をしっかりと身につけてきてほしいと考えています。</p> <p>○ 一般入試前期日程 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」</p> <p>○ 一般入試後期日程 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」</p> <p>○ 私費外国人留学生 日本の高等学校における「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」に相当する科目</p>	<p>○ 一般入試前期日程 大学入試センター試験においては、国語、数学、英語を必修科目として、地理、歴史、公民から1科目、理科は物理、化学、生物から2科目を選択とします。個別学力試験では、数学を必修とし、上記の教育理念に基づき個別学力試験の数学では記述式になっています。理科は物理、化学、生物から1科目を選択とします。選抜基準は総合得点で判断をし、同点者の順位決定は個別学力試験の数学の得点、次に大学入試センター試験の数学の得点で判定します。</p> <p>○ 一般入試後期日程 大学入試センター試験においては、国語、数学、英語を必修科目として、地理、歴史、公民から1科目、理科は物理、化学、生物から2科目を選択とします。個別学力試験は、数学だけで、上記の教育理念に基づき数学的にも興味のある問題を記述式で出題するよう努めています。選抜基準は総合得点で判断をし、同点者の順位決定は個別学力試験の数学の得点、次に大学入試センター試験の数学の得点で判定します。</p> <p>○ 私費外国人留学生 日本留学試験においては、日本語および数学（コース2）を必修科目とし、理科は物理、化学、生物から2科目を選択とします。面接を行い、日本留学試験及び面接の成績等を総合して入学者の選抜を行います。</p>
		物 質 地 球 科 学 科	物 理 系	<p>○ 教育の理念 物理学は、自然のさまざまな振る舞いの奥にある基本法則を明らかにし、それに基づいてミクロな世界から宇宙までの自然現象を統一的に理解しようとする学問で、さまざまな分野に影響を与えてきました。そのため、現在では物理学は人間の生活に密接にかかわりを持ち、なくてはならない重要な学問になっています。物理系では、このような普遍的・体系的な物理学の知識や考え方を身に付けるために、基礎から積み重ねた教育を行うことを目指しています。</p> <p>○ 教育の目的 物理学は自然の認識についての人類の知的、文化的営みにとどまらず、現代科学を支える基礎であり、私たちの社会基盤を支える基礎学問です。社会におけるこれらの重要性を考えれば、基礎科学としてのこれまでの物理学を継承し、それを持続的に発展させて人類の知の最前線を拡大することが我々に与えられた使命です。物理学では、このような観点に基づいて、未知の自然を探究する創造的な研究活動が行われています。それによって確立された物理学を体系的に理解することによって普遍的知識や考え方を身に付け、社会や学問の世界において自立できる人間を育てるとともに、物理学を通して人類の幸福と社会の進展に普遍的に貢献できる人を育てることを目的としています。</p>	<p>物理系では、教育理念・目的に基づいて、次のような人を求めています。</p> <p>① 基礎学力を備え、科学的好奇心に富み、探究心や勉学意欲の強い人 ② 科学的な基礎知識や思考法を学び、それらを社会人として生かしたい人 ③ 物理系の勉学を基に、広い意味での科学者として自らを磨く人</p>

学部・学科等	教育理念・目的		入学者受入方針 ※求める学生像（アドミッション・ポリシー）		
	学部	学科 (コース・専攻課程・専修等)	求める能力・適性等	高等学校等で履修すべき科目や習得しておくことが望ましい資格等	入学者選抜の基本方針
理学部	物質地球科学科	地学系	<p>地学系では、地球と海洋に関する自然現象に興味を持ち、意欲的に地球科学の知識を身につけ、探究心に富む人を求めています。特に熱帯・亜熱帯域の島弧や海洋で起きている自然現象に興味のある人を求めます。</p>	<p>地学（地球科学）分野は、数学と他の理科学分野（生物、物理、化学）の能力を総合的に応用するような特性を有しています。ですから、高等学校或いは中等教育学校（以下、「中等教育」）では、地学だけではなく、これらの教科もしっかり勉強することを受験生には望みます。さらに、英語は実質的な国際共通語として科学の分野では非常に重要な役割があります。受験生は英語の勉強も重視して下さい。</p>	<p>地学系は中等教育での教育課程を尊重するとともに、受験生が中等教育で基本的な学力と思考力を身につけたかどうかを重視しています。また特定の分野に偏るような試験内容や試験方法は避けるよう努力しています。</p> <p>○ 大学入試センター試験 一般入試（前期日程および後期日程）で受験する人には、大学入試センター試験を課します。大学入試センター試験では、国語、地歴公民（世B、日B、地理B、現社、倫・政経から1科目選択）、数学（数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B）、理科（物理Ⅰ、化学Ⅰ、生物Ⅰ、地学Ⅰから2科目選択）、外国語（英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1科目選択）の5教科7科目を課しています。なお前記の数学では、中等教育で「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」の科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限り、これらの科目で選択解答ができます。</p> <p>○ 一般入試（前期日程） 前期の個別学力検査では、数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C）と理科（物Ⅰ・物Ⅱ、化Ⅰ・化Ⅱ、地Ⅰ・地Ⅱから1つ選択）を課しています。これらの試験では記述式の問題を多く取り入れています。受験生の思考力や記述力等を総合的にみるためです。</p> <p>○ 一般入試（後期日程） 後期の個別学力検査では、小論文を課しています。文章の読解能力や情報の要約能力、および地球科学分野に対する興味や関心度、及び論理的な文章の表現力等を評価します。</p> <p>○ 帰国子女特別入試 大学入試センター試験を課さず、小論文と面接を課し、それらの評価に基づいて総合的に判定します。小論文では、文章の読解能力や情報の要約能力、および地球科学分野に対する興味や関心度、及び論理的な文章の表現力等を評価します。面接では、地球科学分野を勉強するための基礎知識、および勉強しようとする意欲・熱意を中心に評価します。</p> <p>○ 私費外国人留学生入試 大学入試センター試験を免除し、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」と本学が実施する面接の成績を総合判定します。面接では、地球科学分野を勉強するための基礎知識、および勉強しようという意欲・熱意を中心に評価します。</p>
		化学系	<p>化学とは、物質を構成する原子や分子の基本的な性質等を追求し、自然界に多様に存在する物質を探究していく学問です。したがって、化学系では、普遍的な基礎科学の重要性を念頭に置き、基礎化学および地域特性を活かした特色ある教育を推進することを教育目的としています。そのために、多様な物質の反応・構造・機能を分子科学的に理解する上で必要な基礎的な化学教育に加えて、新規物質の創成や亜熱帯・島嶼・海洋の地域特性を活かした天然物・環境分野の応用的な化学教育を行い、亜熱帯島嶼の特性を加味した特色ある化学教育を推進します。</p>	<p>化学系では、琉球大学の求める学生像に従い、自然を化学の目を通して見ることに興味を持ち、本系が提供する教育カリキュラムで修得した知識や技術等を社会に還元し、学術研究の後継者、産業界をリードする技術者および化学の教育を担う教師のみならず教育界のリーダー的存在となる人材を求めています。したがって、化学系では、次のような資質を持った人を求めています。</p> <p>(1) 物質や自然環境の成り立ちについて興味を持っている人</p> <p>(2) 化学を学ぶための基礎知識を備えた人</p> <p>(3) 修得した化学の知識や技術等を社会に役立てたい人</p> <p>○ 一般入試 上記の基本方針に基づき、基礎的な学力と思考力を備え、琉球大学で学ぶ強い意志を有し、本系で修得した知識や技術等を社会の役に立てたいという意欲のある人を求めています。</p> <p>○ 推薦入試Ⅱ 上記の基本方針に基づき、一般入試と同等の基礎学力を有することの他に、特に高等学校で化学クラブの活動をおこなう等、物質や自然を化学の目を通して見ることに意欲的な人を求めています。</p> <p>○ 帰国子女特別入試 上記の基本方針に基づき、一般入試と同等の基礎学力を有することの他に、特に外国語運用能力を備え、国際感覚を身につけており、琉球大学で学ぶ強い意志を有する人を求めています。</p> <p>○ 私費外国人留学生入試 上記の基本方針に基づき、一般入試と同等の基礎学力を有することの他に、特に日本国籍を有しない人で、日本語運用能力を備え、琉球大学で学ぶ強い意志を有する人を求めています。</p>	<p>○ 一般入試 個別学力試験を課していない後期日程を希望する受験生は、入学後の学習を円滑に進めるため、化学Ⅱの学習を強く勧めます。化学Ⅱにおける物質の構造および反応速度と化学平衡は化学系での学習内容に密接に関係しています。</p> <p>○ 推薦入試Ⅱ 個別学力試験を課していない推薦入試Ⅱを希望する受験生は、出願要件として化学Ⅰおよび化学Ⅱを課しているため、化学Ⅱの学習を強く勧めます。化学Ⅱにおける物質の構造および反応速度と化学平衡は化学系での学習内容に密接に関係しています。</p> <p>○ 帰国子女特別入試 大学入試センター試験や個別学力試験を課していない帰国子女特別入試を希望する受験生は、入学後の学習を円滑に進めるため、日本語の教科書や参考書を用いた化学Ⅰおよび化学Ⅱの学習を強く勧めます。</p> <p>○ 私費外国人留学生入試 大学入試センター試験や個別学力試験を課していない私費外国人留学生入試を希望する受験生は、入学後の学習を円滑に進めるため、日本語の教科書や参考書を用いた化学Ⅰおよび化学Ⅱの学習を強く勧めます。</p>

学部・学科等	教育理念・目的		入学者受入方針 ※求める学生像（アドミッション・ポリシー）		
	学 部	学 科 (コース・専攻課程・専修等)	求める能力・適性等	高等学校等で履修すべき科目や習得しておくことが望ましい資格等	入学者選抜の基本方針
理学部 海洋自然科学科 生物系	<p><b>【学部共通】</b> 本学部は、「理学」における伝統的学問分野をさらに充実させるとともに、沖縄の地理的特性を活かした特色ある教育研究を一層推進し、広く社会で活躍できる人材を育成する学部です。本学部は、今日の急激な学問展開と社会状況を考慮し(1)基礎科学としての「理学」への期待と社会的要請に応え、高い理想と広い視野、強い信念、国際的素養を備えた人材の養成、(2)沖縄の地域的自然特性等の教育研究及び基礎科学が学問的土台になるような技術・環境・文化等の社会的要請に対応できる教育研究の推進を理念としています。</p>	<p>サンゴ礁と白い砂浜に縁取られ、照葉樹が深い緑の陰を落とす亜熱帯の島々。そんな美しい島々が弧状に連なってできた琉球列島には、複雑な地史や亜熱帯海洋性の特異な気候を反映し、陸域から海域にかけて実に多様な生物が暮らしています。その中には、琉球列島の固有種や、日本ではここでしか見られない熱帯系の種などが数多く含まれており、生物多様性の極めて高い地域として知られています。</p> <p>近年、我々人類の営みは、このかけがえのない琉球列島の自然に大きな影響を与え、生物を取り巻く環境を急速に変化させてきました。「自然との共生」が人類共通の課題としてクローズアップされる今日、琉球列島の自然環境をどのようにして守り、どのように共存してゆけばよいのか、我々が考えなければならない課題は数多く存在します。こうした状況の中、生物学に対する社会の関心と期待は急速に高まってきています。</p> <p>我々生物系では、地域・国際社会で生物学が果たすべき役割を視野に入れながら、琉球列島の豊かな自然環境が持つ特色を最大限に生かし、多様な生命現象とその根底にある基本原理の理解を目指した教育・研究をおこなっていきます。</p> <p>○ 教育目的 生物系では、生物学の基礎的知識を体系的に習得してもらうことを目標に、生物学の主要な学問分野に対応した教育をおこなっています。また、生物学の先端的な知見に触れる機会を積極的に設けるとともに、学生の多様な要求・目的意識に対応した個性豊かな教育を提供しています。特に、生物の営みに対する理解を深め、自然環境の重要性に対する認識を高めてもらうことを目標に、学内外の機関と連携を取りながら、琉球列島の恵まれた自然環境を実体験の場として活用した教育を展開しています。こうした教育を実践することにより、生物学的素養を基礎に、地域から国際社会までの様々な分野において積極的に個性を発揮できる生物学徒を育成することを目的としています。</p>	<p>○ 一般入試 生物系では、教育理念のもと、次のような人を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な生命現象と生物を取り巻く自然環境に興味を持ち、深く学びたいという意欲のある人</li> <li>・自らの目標に向かって主体的に物事を考え、積極的に行動できる人</li> <li>・生物学を学ぶために必要な基礎知識を備えている人</li> </ul> <p>○ 推薦入試Ⅱ 生物系では、教育理念のもと、次のような人を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋の生物資源や多様な生命現象と生物を取り巻く自然環境に興味を持ち、深く学びたいという意欲のある人</li> <li>・自らの目標に向かって主体的に物事を考え、積極的に行動できる人</li> <li>・生物学を学ぶために必要な基礎知識を備えている人</li> </ul> <p>○ 帰国子女特別入試 生物系では、教育理念のもと、次のような人を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な生命現象と生物を取り巻く自然環境に興味を持ち、深く学びたいという意欲のある人</li> <li>・自らの目標に向かって主体的に物事を考え、積極的に行動できる人</li> <li>・生物学を学ぶために必要な基礎知識を備えている人</li> </ul> <p>○ 私費外国人留学生入試 生物系では、教育理念のもと、次のような人を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な生命現象と生物を取り巻く自然環境に興味を持ち、深く学びたいという意欲のある人</li> <li>・自らの目標に向かって主体的に物事を考え、積極的に行動できる人</li> <li>・生物学を学ぶために必要な基礎知識を備えている人</li> </ul>	<p>○ 一般入試 生物を含む理科およびその他の高等学校必修科目について、確実に基礎学力を身につけていることを望みます。</p> <p>○ 推薦入試Ⅱ 水産に関する科目に加え、生物を含む理科およびその他の高等学校必修科目について、確実に基礎学力を身につけていることを望みます。</p> <p>○ 帰国子女特別入試 生物学を学ぶ上で必要な科目について、確実に基礎学力を身につけていることを望みます。</p> <p>○ 私費外国人留学生入試 生物学を学ぶ上で必要な基礎学力とともに、日本語で提供される講義を履修するのに必要なコミュニケーション能力を身につけていることを望みます。</p>	<p>○ 一般入試 生物系では、高等教育課程において基本的な学力と思考力が身につけているかどうかを重視して入学者選抜をおこなっています。この基本方針に基づき、前期・後期日程の大学入試センター試験では国語と数学を必須教科とし、地歴・公民と外国語からそれぞれ1科目、理科から2科目を選択科目として課しています。前期日程の個別学力試験では数学と生物学（Ⅰ・Ⅱ）を必須科目としていますが、生物学の試験では論述形式の問題を多く出題し、生物学の基礎的な知識に加え、論理的な思考力を重視した選抜を行っています。後期日程の個別学力試験では、受験生の理解力、考察力、発想力および表現力などを見るため、小論文を課しています。</p> <p>○ 推薦入試Ⅱ 生物系では、高等教育課程において基本的な学力と思考力を身につけられているかどうかを重視して入学者選抜をおこなっています。この基本方針に基づき、大学入試センター試験では国語と数学を必須教科とし、地歴・公民と外国語からそれぞれ1科目、理科から2科目を選択科目として課しています。また、個別学力試験では面接をおこなって生物学・水産学に関する基礎的な知識や学習意欲、適性等を判断し、志願理由書や調査書と合わせて総合的な評価をおこないます。</p> <p>○ 帰国子女特別入試 生物系では、高等教育課程において基本的な学力と思考力を身につけられているかどうかを重視して入学者選抜をおこなっています。この基本方針に基づき、受験生の理解力、考察力、発想力および表現力などを見るため、小論文を課しています。また、面接をおこなって生物学に関する基礎的な知識や学習意欲、適性等を判断し、小論文の結果と合わせて総合的な評価をおこないます。</p> <p>○ 私費外国人留学生入試 生物系では、高等教育課程において基本的な学力と思考力を身につけられているかどうかを重視して入学者選抜をおこなっています。この基本方針に基づき、日本留学試験では日本語を必須教科とし、理科2科目を選択とします。数学はコース1、コース2から1科目を選択科目として課しています。また、面接をおこなって、日本語によるコミュニケーション能力、生物学に関する基礎的な知識や学習意欲、適性等を判断し、日本留学試験の結果と合わせて総合的な評価をおこないます。</p>

学部・学科等	教育理念・目的		入学者受入方針 ※求める学生像（アドミッション・ポリシー）			
	学 部	学 科 （コース・専攻課程・専修等）	求める能力・適性等	高等学校等で履修すべき科目や習得しておくことが望ましい資格等	入学者選抜の基本方針	
医 学 科		<p>医学科は、医学に関する専門の学術を修得し、医の倫理を身につけ、医学の進歩に柔軟に対応しうる医師、研究者を育成することを目的としています。</p> <p>沖縄県のおかれた自然的、地理的並びに歴史的な条件を踏まえ、島嶼環境などに由来する困難な地域医療の充実に努めます。国民の医療の向上に貢献するとともに、国際性豊かな医学部医学科として発展させ、東南アジアを主とする諸外国との学術交流及び医療協力に寄与します。</p>	<p>○ 一般入試、帰国子女、私費外国人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・責任感が強く、人の身になって考え、行動できる人</li> <li>・常に自己点検を行い、自己啓発ができる人</li> <li>・創造性に富み、物事を理論的に整理・展開できる人</li> <li>・生命現象、医学・医療に強い関心がある人</li> <li>・医学を学ぶ基礎学力を有する人</li> </ul> <p>○ 推薦入試（地域枠）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療に貢献するための県民・地域住民意識を持てる人</li> <li>・自分の置かれた社会的・地域的立場をしっかりと意識できる人</li> <li>・学習意欲の維持ができる人</li> <li>・自己学習ができる人</li> <li>・医学を学ぶ基礎学力を有する人</li> </ul> <p>○ 2年次編入学（学士入学）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県の地域医療並びに東南アジア等の国際医療に強い関心がある人</li> <li>・自然科学、生命現象に強い関心がある人</li> <li>・責任感が強く、人の身になって考え、行動のできる人</li> <li>・常に自己点検を行い、自己啓発ができる人</li> <li>・創造性に富み、物事を理論的に整理・展開ができる人</li> </ul>	<p>数学は、一般入試（後期日程）、推薦入試も含めて、数学Ⅰ・Ⅱ、Ⅲ・Ⅳの履修を、望みます。理科は受験科目にかかわらず、物理Ⅰ、Ⅱ、化学Ⅰ、Ⅱ、生物Ⅰ、Ⅱ、3科目とも、履修を望みます。英語は、英語Ⅰ、Ⅱを履修し、英検2級以上のレベルを求めます。</p>	<p>入学試験は前期・後期日程入学試験のほか、推薦入学Ⅱとして地域枠（7名）を沖縄県の高等学校の出身者から選抜します。さらに帰国子女（若干名）と第2年次特別編入学（学士入学）枠（5名）の5種類の入学試験を実施し、多様な人材を求めています。</p> <p>○ 前期日程 大学入試センター試験では、5教科7科目を課します。個別学力試験では、数学、理科、外国語を課しています。基礎学力を中心としますが、さらに、面接を実施し、アドミッション・ポリシーに沿った選抜を行います。</p> <p>○ 後期日程 大学入試センター試験では、5教科7科目を課します。個別学力試験では、小論文と面接を行い、アドミッション・ポリシーに沿った選抜を行います。</p> <p>○ 地域枠 県内高等学校出身者を対象に、各高等学校より推薦された各2名以内について選抜試験を行います。また、調査書や志望動機に関する応募書類をもとに、アドミッション・ポリシーに沿った面接を実施し、大学入試センター試験の成績と個別学力試験（小論文、面接）等の成績を総合して選抜します。</p> <p>○ 第2年次特別編入学（学士入学） 4年制の大学を卒業した者を対象者として、明確な目的意識や適性を有した人材の選抜を行います。</p> <p>① 第一次選抜 小論文、自然科学総合試験を実施します。その結果を総合判定し、募集人員の約5倍を第二次選抜の合格者とします。</p> <p>② 第二次選抜 第一次選抜の合格者に対し、個人面接を実施し、最終の合格者を決定します。</p>	
医 学 部		<p>【学部共通】</p> <p>医学部は、医学と保健学に関する専門の知識と技術を修得し高い倫理性を身につけ、医学・医療の進歩や社会的課題に柔軟に対応しうる医師、保健・医療従事者を育成することを基本目的としています。</p> <p>加えて沖縄県の置かれた自然的、地理的及び歴史的な特性をふまえ、島嶼環境に由来する困難な地域保健医療の充実や地域特性に根ざした医学・医療の課題解決に努めると共に、アジア・南太平洋地域を中心とする南に開かれた国際性豊かな医学部を目指しています。</p>	<p>琉球大学医学部保健学科は、保健医療にかかわる幅広い知識を習得し科学的な思考方法を学び、人間性豊かな保健医療人を目指し修練する教育の場です。</p> <p>本学科の教育理念は、科学的思考力を身に付けた人間性豊かな専門職として保健医療分野で活動でき、かつ沖縄県の自然および地理的特性、またその歴史的背景をふまえ、南に開かれた大学として、国際的視野を持った指導的人材を育成することです。</p> <p>このような教育理念のもと、本学科は、看護学と検査技術学の2コースから成り、以下のような教育目標を立てています。</p> <p>○ 看護学教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 生命を尊重し、人々が自立できるように支援し、看護専門職者として主体的に責任を持って行動できる能力を養う。</li> <li>② 保健学を基盤とした看護に関する基礎的知識と技術を習得し、看護実践における適切な判断・実践、評価のできる能力を養う。</li> <li>③ 看護専門職としての役割を認識し、他の保健・医療・福祉の専門職者と連携、協働して社会資源を活用し、看護を有効に機能させ、地域に貢献できる能力を養う。</li> <li>④ 社会の変化や医療の高度化、多様化に対応できる柔軟な思考力と自主的行動力を培い、看護学の発展に積極的かつ創的に取り組める能力を養う。</li> <li>⑤ 東南アジアを主とする、諸外国との学術交流及び看護活動の推進に寄与することのできる能力を養う。</li> </ol> <p>○ 検査技術学教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 技術革新による臨床検査分野の進展に対応できる自立的学習能力を養う。</li> <li>② 病因を解明するための分析技術および先端医療を支える新しい技術を修得する。</li> <li>③ 臨床検査技師として、地域における保健医療問題の解決のための即応力を養う。</li> <li>④ 他の保健医療専門職者と協働しながら人の健康増進、疾病の予防や治療に取り組むための、豊かな人間性や社会性を養う。</li> <li>⑤ 語学力、IT活用能力を培って国際感覚を磨き、医療専門職としてグローバル時代に対応しうる総合力を養う。</li> </ol>	<p>本学科では将来、看護、臨床検査、国際・地域保健等の分野で働き活躍する学生の育成を目指します。</p> <p>そのため、以下の資質を備えている人材を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 生命科学、保健・医療・福祉に強い興味と関心を持ち、主体的に学ぶ意欲のある人</li> <li>② 生命尊重の精神にのっとり、人の身になって行動できる人</li> <li>③ 自らの目標に向かって自己啓発し、他者と協働および自律ができる人</li> <li>④ 論理的に物事を考え、科学的に解決する意欲のある人</li> </ol>	<p>数学は、一般入試（後期日程）、推薦入試も含めて数学Ⅰ・Ⅱ、Ⅲ・Ⅳの履修を、理科は、受験科目にかかわらず、物理Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物Ⅰ・Ⅱの3科目とも、履修を望みます。英語は、英検2級程度のレベルを求めます。</p>	<p>本学科は高等学校の教育課程を尊重し、基本的な学力と思考力を有するかどうかを重視し、特定の分野に偏る試験内容や方法は避けるように努めています。このような方針から、全ての選抜方式で、大学入試センター試験5教科7科目（国語、英語、地理歴史・公民から1科目、数学2科目、理科2科目）を課しており、試験の成績が所定のレベルに達していることを求めています。前期日程個別学力検査では数学および理科を、後期日程個別学力検査では小論文とともに面接を行います。推薦入試では、積極性やリーダーシップ等を重視した面接を行います。</p>
保 健 学 科						

学部・学科等	教育理念・目的		入学者受入方針 ※求める学生像（アドミッション・ポリシー）		
	学 部	学 科 (コース・専攻課程・専修等)	求める能力・適性等	高等学校等で履修すべき科目や習得しておくことが望ましい資格等	入学者選抜の基本方針
工 学 部	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	<p><b>【学部共通】</b> 工学の目的は基礎科学の成果を、実際の産業や人間の生活・福祉等に役立つよう応用・開発して社会に貢献することです。本学部では、今日の工業・技術社会の要請に応え、幅広い教養と技術者倫理、コミュニケーション能力および高度な専門知識を身につけ、安全・安心な社会の創出および地域環境保全や平和に貢献し得る、豊かな創造力と実践力を備えた人材を養成します。</p> <p>幅広い教養と倫理観を備えて、深い洞察力や思考力を駆使し、物事を多面的に捉えて社会に対する責任を自覚し、数学、自然科学、情報技術の基礎分野および機械システム工学の専門分野に関する知識を駆使して、安全性・経済性・環境負荷を考慮した機械システムのエンジニアを教育することを目的としています。</p>	<p>機械工学（機械やその設計・製造に関する科学技術）に強い関心を持ち、将来、これを活かして広く社会へ貢献する意欲があり、向上心あふれる次のような人を求めています。</p> <p>○ 一般入試（前期日程・後期日程）：十分な基礎学力を有する人で、特に数学、物理に優れている人。</p> <p>○ 推薦入試Ⅱ：十分な基礎学力を有すると共に推薦学校において成績優秀な模範的な人。</p> <p>○ 推薦入試Ⅱ（専門高校卒業生枠）：機械工学の初歩に関する知識及び学力を有すると共に推薦学校において成績優秀な模範的な人。</p> <p>○ 社会人特別入試：企業などで社会人として勤労に従事しながら機械工学を修得する意欲の強い人。</p> <p>○ 帰国子女特別入試：外国において本学部の修学に必要な基礎学力を修得した人で、機械工学を修得する意欲の強い人。</p> <p>○ 私費外国人留学生入試：外国国籍を有する人で、日本語による授業を理解できる十分な日本語能力と基礎学力を有し、機械工学を修得する意欲の強い人。</p>	<p>履修すべき科目：本学科の受験科目である、大学入試センター試験（数学（2科目）、理科（2科目）、外国語、国語、地歴・公民）及び個別学力検査（数学〔数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C（特に微分・積分）〕、物理〔物理Ⅰ・Ⅱ〕）の科目を履修すべきである。推薦入試Ⅱ（専門高校卒業生枠）においては、数学Ⅲ・C（特に微分・積分）、物理Ⅱを履修していることが望ましい。</p> <p>習得しておくことが望ましい資格：特に無し。</p>	<p><b>【昼間主コース】</b> ○ 一般入試（前期日程、後期日程） ・入学要件：高等学校を卒業した者または本年度卒業見込みの者（詳細は入学者選抜要項や学生募集要項を参照ください）。 ・選抜方法：大学入試センター試験及び個別学力検査（後期日程は個別学力検査は行いません）。 ・選抜基準：総合得点で順位付けを行います。ただし1科目でも0点の場合は不合格とします。 ○ 推薦入試Ⅱ ・入学要件：学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる本年度卒業見込みの者（専門工業高校枠においては卒業後2年以内の者も認めます）（詳細は入学者選抜要項や学生募集要項を参照ください）。 ・選抜方法：大学入試センター試験及び個別学力検査（小論文、面接および志願理由書、調査書、推薦書）。 ・選抜基準：高等学校等の長の推薦に基づき、総合得点で順位付けを行います。ただし1科目でも0点の場合は不合格とします。 ○ 帰国子女特別入試 ・入学要件：日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等により外国で2年以上長期間滞在している者（詳細は入学者選抜要項や学生募集要項を参照ください）。 ・選抜方法：小論文及び面接。 ・選抜基準：成績証明書（調査書）、小論文及び面接を総合して選考します。 ○ 私費外国人留学生入試 ・入学要件：日本の国籍を有しない者で、外国において学校教育における12年の課程を修了した者（詳細は入学者選抜要項や学生募集要項を参照ください）。 ・選抜方法：日本留学試験（日本語、理科（物理、化学）、数学（コース2））。 ・選抜基準：日本留学試験の成績に基づき、総合して選考します。 ○ 第3年次特別編入学 ・入学要件：大学を卒業した者及び本年度卒業見込みの者。短期大学、高等専門学校等を卒業した者及び本年度卒業見込みの者。修業年限4年以上の他の大学に2年以上在学（休学期間を除く）し、62単位以上を習得した者及び本年度末をもって2年間在学（休学期間を除く）し、62単位以上を修得見込みの者（詳細は第3年次特別編入学学生募集要項を参照ください）。 ・選抜方法：学力検査（出願時に二科目選択）及び面接（可否）。 ・選抜基準：学力検査の得点で順位付けします。ただし、面接が「否」の場合、もしくは学力検査の1科目でも0点の場合は不合格とします。</p> <p><b>【夜間主コース】</b> ○ 一般入試（前期日程、後期日程） ・入学要件：高等学校を卒業した者または本年度卒業見込みの者（詳細は入学者選抜要項や学生募集要項を参照ください）。 ・選抜方法：大学入試センター試験及び個別学力検査（後期日程は個別学力検査は行いません）。 ・選抜基準：総合得点で順位付けを行います。ただし1科目でも0点の場合は不合格とします。 ○ 推薦入試Ⅱ ・入学要件：学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる本年度卒業見込みの者（専門工業高校枠においては卒業後2年以内の者も認めます）（詳細は入学者選抜要項や学生募集要項を参照ください）。 ・選抜方法：大学入試センター試験及び個別学力検査（小論文、面接および志願理由書、調査書、推薦書）。 ・選抜基準：高等学校等の長の推薦に基づき、総合得点で順位付けを行います。ただし1科目でも0点の場合は不合格とします。 ○ 帰国子女特別入試 ・入学要件：日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等により外国で2年以上長期間滞在している者（詳細は入学者選抜要項や学生募集要項を参照ください）。 ・選抜方法：小論文及び面接。 ・選抜基準：成績証明書（調査書）、小論文及び面接を総合して選考します。 ○ 社会人特別入試 ・入学要件：高等学校を卒業した3年以上の勤務経験を有する者で、人物が優れ、本学科（夜間主コース）に入学後も勤労に従事しながら修学し、勤務先から承諾書が得られた者（詳細は入学者選抜要項や学生募集要項を参照ください）。 ・選抜方法：個別学力検査（小論文、面接、志願理由書、調査書）。 ・選抜基準：総合得点で順位付けを行います。</p>

学部・学科等	教育理念・目的		入学者受入方針 ※求める学生像（アドミッション・ポリシー）		
	学部	学科 (コース・専攻課程・専修等)	求める能力・適性等	高等学校等で履修すべき科目や習得しておくことが望ましい資格等	入学者選抜の基本方針
環境建設工学科	土木コース	自然と調和し安全で快適な道路や橋、港湾などの社会基盤施設、住宅やビルなどの建築物、それらの集合した都市を創り出すことができる技術者を育てることを教育理念とし、学位授与方針に示すような人材を育成することを目的としています。	<b>【学科共通】</b> ○ 推薦入試 本学科で学ぶための、高い学習意欲を持ち、高等学校等において優秀な成績をおさめ、特に数学、物理、英語に優れた入学者を選抜します。 ○ 一般入試（前期日程・後期日程） 本学科で学ぶための基礎能力として、数学、物理、英語などに優れた入学者を選抜します。 ○ 私費外国人留学生入試 外国国籍を有する人で、日本語による授業を理解できる十分な日本語能力と基礎学力を有し、環境建設工学科における修学に意欲がある入学者を選抜します。 ○ 3年次特別編入入試 自然と調和し安全で快適な道路や橋、港湾などの社会基盤施設、住宅やビルなどの建築物、それらの集合した都市に興味を持ち、これらの専門分野に関する基礎的な知識と学習意欲を有する優れた人を求めています。専門分野に関する基礎的な知識と学習意欲を有する優れた編入学者を選抜します。	<b>【学科共通】</b> 本学科の受験科目は入学者選抜の実施教科・科目等に記載されている通りです。特に以下の科目が履修すべき科目として推奨されます。 ○ 一般入試（前期日程・後期日程）および推薦入試（専門高校卒業生枠を除く） 数学〔数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C（特に微分・積分）〕、物理（物理Ⅰ、Ⅱ）、国語、英語、社会（世界史B、日本史B、地理B、現代社会、倫理、政治経済から1科目）、理科（化学Ⅰ、生物Ⅰから1科目） ○ 推薦入試Ⅱ（専門高校卒業生枠） 数学Ⅲ・C（特に微分・積分）、物理Ⅱを履修することが望ましい。なお、取得の望ましい資格は特にありません。 ○ 3年次特別編入入試 常微分・偏微分、線形代数、構造力学を履修することが望ましい。なお、取得の望ましい資格は特にありません。	<b>【学科共通】</b> ○ 推薦入試 大学入試センター試験得点順に順位付けを行います。大学入試センター試験、調査書、推薦書、面接試験を総合的に判断して合否判定を行います。面接は、合格・不合格で判定します。 ○ 一般入試（前期日程） 大学入試センター試験と個別学力検査の総合点順に順位付けを行い、上位から順次合格とします。総合点が同点の場合は調査書上位の者、調査書が同点の場合は、大学入試センター試験の得点が上位の者から順次合格とします。なお、1科目でも0点の場合は不合格とします。 ○ 一般入試（後期日程） 大学入試センター試験の総合点順に順位付けを行い、上位から順次合格とします。同点の場合は調査書上位の者、調査書が同点の場合は、全員同順位として、その順位が合格者の最下位である場合は、その順位の者すべてを合格とします。なお、1科目でも0点がある場合は不合格とします。 ○ 私費外国人留学生入試 「日本留学試験」の成績等を総合判断して合否判定を行います。「日本留学生試験」を複数回受験した場合は、成績を希望する回の「日本留学試験成績通知書（写）」を提出してください。
	建築コース				
工学部	<b>【学部共通】</b> 工学の目的は基礎科学の成果を、実際の産業や人間の生活・福祉等に役立つよう応用・開発して社会に貢献することです。本学部では、今日の工業・技術社会の要請に応え、幅広い教養と技術者倫理、コミュニケーション能力および高度な専門知識を身につけ、安全・安心な社会の創出および地域環境保全や平和に貢献し得る、豊かな創造力と実践力を備えた人材を養成します。	<b>【夜間主コース】</b> ○ 一般入試 全ての科目で十分な基礎学力を有し、特に数学ならびに物理に優れている人を求めています。 ○ 私費外国人留学生入試 外国国籍を有する人で日本語による授業を理解できる十分な日本語能力と基礎学力を有し、電気電子工学を修得する意欲が強い人を求めています。 ○ 第3年次特別編入学 電気・電子・通信・情報工学に関する基礎的な知識および学力を有し、さらに専門知識を深めたいという強い目的意識を持って自ら積極的に学ぼうとする人を求めています。	取得が望ましい資格等：特になし。	<b>【夜間主コース】</b> ○ 一般入試 ・入学要件：高等学校等を卒業した者または本年度卒業見込みの者（詳細は入学者選抜要項を参照ください） ・選抜方法：大学入試センター試験及び個別学力検査（後期日程の場合は個別学力検査は含まない） ・選抜基準：総合点で順位付けします。ただし、1科目でも0点の場合は不合格とします。 ○ 社会人特別入試 ・入学要件：高等学校等を卒業した者で3年以上の勤務経験を有する者（詳細は入学者選抜要項を参照ください） ・選抜方法：小論文及び面接（口頭試問を含む） ・選抜基準：個別試験（小論文と面接）、志願理由書を点数化し、総合点で順位付けします。	
電気電子工学科					本学科では、電気電子工学に関する基礎的な知識から高度の専門知識を備え、幅広い視野と柔軟な適応能力を有し、広く世界で活躍できる技術者・研究者を育成することを目指しています。

学部・学科等	教育理念・目的		入学者受入方針 ※求める学生像（アドミッション・ポリシー）		
	学部	学 科 (コース・専攻課程・専修等)	求める能力・適性等	高等学校等で履修すべき科目や習得しておくことが望ましい資格等	入学者選抜の基本方針
工 学 部	情 報 工 学 科	<p>【学部共通】</p> <p>工学の目的は基礎科学の成果を、実際の産業や人間の生活・福祉等に役立つよう応用・開発して社会に貢献することです。本学部では、今日の工業・技術社会の要請に応え、幅広い教養と技術者倫理、コミュニケーション能力および高度な専門知識を身につけ、安全・安心な社会の創出および地域環境保全や平和に貢献し得る、豊かな創造力と実践力を備えた人材を養成します。</p> <p>幅広い教養と技術者倫理および情報工学の専門知識・実践力を備えるとともに、変動する複雑な社会で柔軟かつ自律的に対応できる技術者を養成します。</p>	<p>情報工学分野（コンピュータ、知的情報処理、情報通信等）への強い関心と学習意欲を持ち、将来、地域社会および国際社会で活躍する意欲のある人で、次の項目のいずれかに該当する人材を求めています。</p> <p>○ A O入試 一定の基礎学力を有するとともに、これまで自らの目標に向かって主体的に物事を考え、積極的に行動してきた人で、高いコミュニケーション能力を持ち、本学科での学習意欲が特に強い人</p> <p>○ 推薦入試Ⅱ 十分な基礎学力を有するとともに、これまで自らの目標に向かって主体的に物事を考え、積極的に行動してきた模範的な人</p> <p>○ 一般入試 十分な基礎学力を有する人で、特に数学、物理に優れている人</p> <p>○ 私費外国人留学生入試 日本語による授業を理解できる十分な日本語能力と十分な基礎学力を有する人で、特に数学、物理に優れている人</p> <p>○ 第3年次特別編入学 情報工学に関する基礎的な学力を有し、さらに深い専門知識と高度な技術を身につけたい人</p>	<p>高等学校等で履修すべき科目や習得しておくことが望ましい資格等</p> <p>○ 一般入試(前期日程・後期日程)、推薦入試、A O入試</p> <p>情報工学科が指定する試験科目の他、数Ⅲ・C、物理Ⅱを履修していることが望ましい。</p>	<p>○ A O入試 ・入学要件：高等学校等を卒業した者または本年度卒業見込みの者（詳細は入学者選抜要項を参照のこと） ・選抜方法：第1次選考（書類選考）ならびに第2次選考（個別面接） ・選抜基準：第1次選考では、書類選考を点数化し、その合計点で順位付けします。第2次選考では、1次面接（意欲、経験、基礎学力をはかる課題の出題）、2次面接（1次面接で出題された解答を口頭発表および質疑応答）の2段階で行い点数化して順位付けします。</p> <p>○ 推薦入試Ⅱ ・入学要件：高等学校等を本年度卒業見込みの者（専門高校卒業生枠においては卒業後1年以内の者も認める）で、学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者。（詳細は入学者選抜要項を参照のこと） ・選抜方法：大学入試センター試験（5教科7科目）国語、地歴・公民（世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1）、理科〔（物Ⅰ）、（化Ⅰ、生Ⅰから1）〕、数学〔（数Ⅰ・数A）、（数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1）〕、外国語〔英（リスニングテストを含む）、独、仏、中、韓から1〕。小論文、面接 ・選抜基準：高等学校等の長の推薦に基づき、大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。</p> <p>○ 一般入試 ・入学要件：高等学校等を卒業した者または本年度卒業見込みの者（詳細は入学者選抜要項を参照のこと） ・選抜方法：大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績及び調査書を総合判定。 ・選抜基準：総合得点で順位付けします。ただし、1科目でも0点の場合は不合格とします。</p> <p>○ 私費外国人留学生入試 ・入学要件：日本の国籍を有しない者で外国において学校教育における12年の課程を修了した者（詳細は入学者選抜要項を参照ください） ・選抜方法：日本留学試験および面接 ・選抜基準：日本留学試験、を点数化し、総合得点で順位付けします。</p> <p>○ 第3年次特別編入学 ・入学要件：大学を卒業した者及び本年度卒業見込みの者。短期大学、高等専門学校等を卒業した者及び本年度卒業見込みの者。修業年限4年以上の他の大学に2年以上在学（休学期間を除く）し、62単位以上を習得した者及び本年度末をもって2年間在学（休学期間を除く）し、62単位以上を修得見込みの者（詳細は第3年次特別編入学学生募集要項を参照ください） ・選抜方法：面接（学習意欲、適性、学力試問）、調査書又は成績証明書の結果を総合的に判定して行います。 ・選抜基準：人物、学習意欲、将来計画、コミュニケーション能力およびこれまでに学習した数学および情報工学分野の基礎学力を評価し点数化する。</p>

学部・学科等	教育理念・目的		入学者受入方針 ※求める学生像（アドミッション・ポリシー）			
	学 部	学 科 (コース・専攻課程・専修等)	求める能力・適性等	高等学校等で履修すべき科目や習得しておくことが望ましい資格等	入学者選抜の基本方針	
農 学 部	亜熱帯地域農学科	農林経済学	<p>国際的な視点で地域農林畜産業の振興に携わる指導力のある有用な人材、並びに地域資源循環システムに基づく持続的農業生産並びに農と社会との共生を構築できる実践的人材の育成を目的とします。</p>	<p>農学分野の技術開発及び研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志す、学習意欲と創造力のある次のような人を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際的な視点で地域農林畜産業の振興に貢献したい人</li> <li>・地域生物資源の循環システムに基づく持続的農業生産に組み込みたい人</li> <li>・農業と地域社会との共生の仕組みを考えたい人</li> </ul>	<p>高等学校等で履修すべき科目や習得しておくことが望ましい資格等</p>	<p>入学者選抜の基本方針</p>
		植物開発学				
		循環畜産学				
	亜熱帯農林環境科学科	農林共生学	<p>【学部共通】 21世紀の農学に課せられた重要な使命は、安全で安定的な食料生産をはじめ、環境保全、新たな資源・エネルギーの開発・利用、公共の福祉への寄与をとおし、「持続的に発展可能な人間社会」の形成に貢献することにあります。 本学部の基本理念は、沖縄の亜熱帯島嶼性という地理的・自然的環境および歴史的・文化的特性を活かし、生物の生存環境と人間の共生を目指して、持続的食料生産、地域農業、環境保全、生物資源・エネルギー利用、長寿・健康及び発酵・生命に関する専門教育と研究を深化させ、その成果の蓄積・活用と人材育成によって、地域社会並びに国際社会の発展に貢献することにあります。 上記の基本理念に沿った教育研究を行うため、次の教育目標を置いています。</p> <p>(1) 亜熱帯地域特有の生物多様性やアジア・環太平洋地域の玄関口という地理的特性を生かし、農業・食料・環境・生命に関する科学の基礎を修めた総合的教養人を育成します。</p> <p>(2) 豊かな創造力と応用力を持ち、国際性を兼ね備え、地域社会及び国際社会で活躍できる人材を育成します。</p> <p>(3) 豊富な知識と柔軟な思考能力を併せ持ち、現代社会のニーズに対応できる専門職業人を育成します。</p>	<p>農学分野の技術開発及び研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志す、学習意欲と創造力のある次のような人を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物資源・環境の機能や特性の解明に興味をもつ人</li> <li>・生物生産と自然環境との調和を目指す人</li> <li>・生物多様性の理解を通じて環境保全に貢献したい人</li> </ul>		
		植物機能学				
		動物機能学				
		森林環境学				
	地域農業工学科	生態環境学	<p>資源生物や野生生物とそれらを取巻く環境の機能・特性の解明を通じ、生物や環境に関連する分野で活躍する有能な人材、並びに生物多様性の価値を理解し、豊かな環境の確保と保全に貢献できる実践的人材の育成を目的とします。</p>	<p>農学分野の技術開発及び研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志す、学習意欲と創造力のある次のような人を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業・農村の環境整備とそれらが発揮する多面的機能の維持管理に関心がある人</li> <li>・農業生産から流通・加工に係わる食料システムの構築に興味がある人</li> <li>・自然エネルギーを活用した循環型地域システムを考えたい人</li> </ul>		
		バイオシステム工学コース				
		定域環境工学コース（日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定プログラム）				
	亜熱帯生物資源科学科	生物機能学	<p>亜熱帯生物資源の機能開発と高度利用に関する専門知識と技術を有する有能な人材、並びに生物資源関連産業、発酵産業及び健康・食品産業の振興・発展に貢献できる実践的人材の育成を目的とします。</p>	<p>農学分野の技術開発及び研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志す、学習意欲と創造力のある次のような人を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物資源の利用・開発及びバイオテクノロジーに関心のある人</li> <li>・健康の維持に有効な機能性食品の開発に興味を持つ人</li> <li>・発酵科学を通じて食品・医薬産業に貢献したい人</li> </ul>		
		食品機能学				
発酵・生命科学						

【学部共通】  
琉球大学農学部はリベラルアーツ型の教育体系を尊重し、受験生が高等教育において、基礎的な学力と思考力を養成されているかを重視するため、一般入試では特定分野に偏向した試験内容や方法は行っていません。  
したがって、基本理念も踏まえ、一般入試では高等学校等における基礎的教科・科目についての学習の達成度を測る大学入試センター試験（5教科7科目）を課し、前期日程では農学部で教育を受けるに相応しい能力を測るため個別学力試験（数学1科目、理科1科目）を実施しています。  
また、後期日程は受験機会の複数化を可能とするために個別学力試験を課さず実施しています。  
特別入試（推薦入試Ⅰ、推薦入試Ⅱ（英語重視）、帰国子女）は、小論文や面接などを課し、一般の学力試験によっては見ることのできない能力や個性などを測り、学科の求める学生像に沿った受験生を受け入れています。  
さらに、私費外国人留学生入試を実施し多様で個性的な受験生を受け入れています。亜熱帯生物資源科学科では、第3年次特別編入学入試も実施しています。

【学部共通】  
高等学校で学習する程度の理科をマスターしておくことが望ましい。